

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

令和2年6月

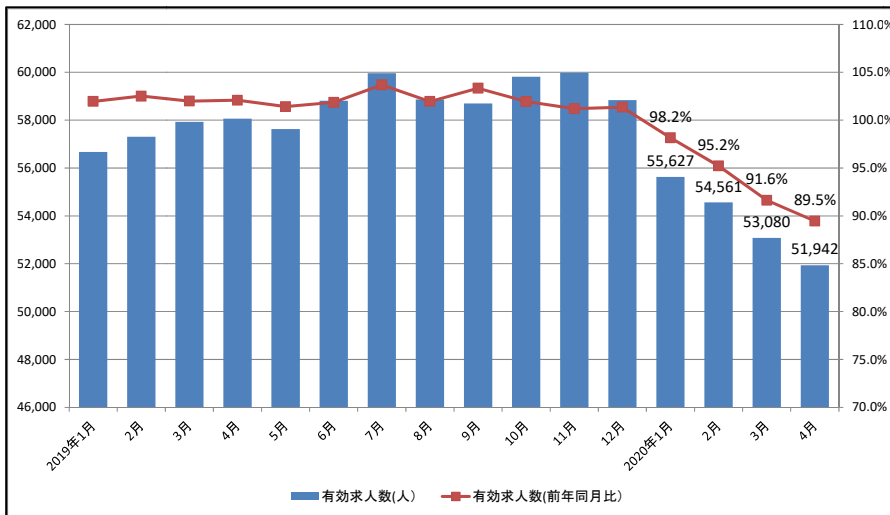
ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

1 建設業界のトピックス

■急速に悪化する建設技術者の雇用情勢

2020年に入ってから悪化傾向が続いていた建設技術者の雇用情勢が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、更に厳しい状況になっています。ハローワークにおける建設技術者(建築・土木・測量技術者)の有効求人数の推移を見ると、2020年1月に前年同月比98.2%と48カ月ぶりに前年割れとなり、その後は2月が同95.2%、3月が同91.6%

【図表① 建設技術者の有効求人数の推移】

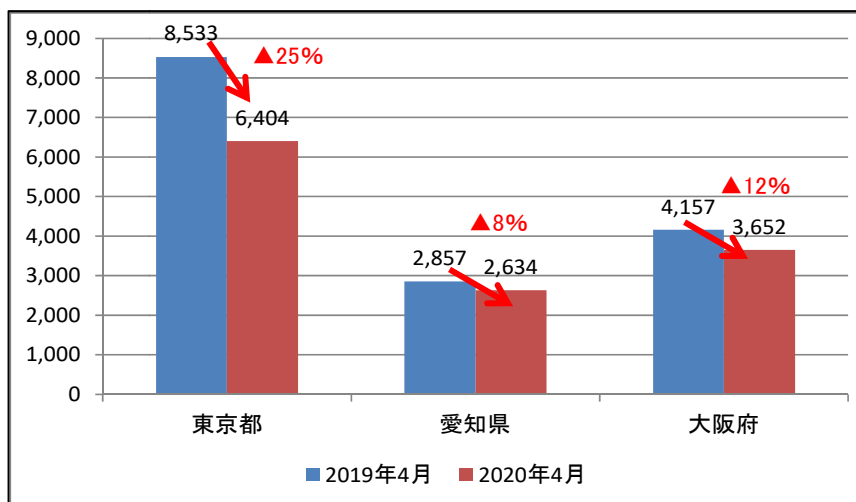


と減少傾向が続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、4月には同89.5%にまで落ち込みました(図表①)。東京オリンピック関連の特需も終わりを迎えることから建設技術者への求人ニーズはやや低下傾向でしたが、そこに新型コロナウイルス感染症拡大が拍車をかけている様相となっています。

■特に東京における求人数の減少が著しい

東京都、愛知県、大阪府の3大都市について2020年4月と前年4月の有効求人数を比較すると、東京都が前年よりも25%の減少、愛知県が8%の減少、大阪府が12%の減少となっており、東京都における減少率の高さが際立っています(図表②)。

【図表② 地域別の建設業の有効求人数の前年比較】



建設技術者の有効求人倍率(全国平均)は4月においても5.49倍(前年同月比▲0.42ポイント)と、専門的・技術的職業の中では最も高くなっていますが、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、更に雇用情勢が悪化することも考えられます。

出典: 図表①②ともに厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」より作成

2 2020年4月の建設業界の雇用関連データ(2020年5月29日公表)

(1)建設業の就業者数・雇用者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は491万人(前年同月比97.6%)、雇用者数は401万人(同96.2%)となりともに減少。

<建設業の就業者数と雇用者数の推移>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
建設業就業者数(万人)	503	499	504	495	508	502	494	513	488	459	503	512	491
前年同月比	99.8%	101.0%	98.2%	97.4%	98.3%	96.9%	99.4%	102.2%	101.2%	97.0%	101.4%	100.6%	97.6%
建設業雇用者数(万人)	417	410	411	408	417	412	407	420	403	380	411	415	401
前年同月比	102.5%	101.7%	97.9%	98.1%	100.0%	97.9%	96.7%	102.9%	103.1%	97.7%	102.8%	100.7%	96.2%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所(ハローワーク)における新規求人数は63,707人(同84.9%)と4カ月連続で前年同月を下回る。

<建設業の新規求人数の推移(新規卒者とパートを除く)>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
新規求人数(人)	74,997	68,831	74,247	76,101	65,764	72,547	77,093	66,211	67,089	65,149	64,012	68,055	63,707
前年同月比	105.8%	97.9%	100.3%	108.0%	97.2%	100.3%	102.9%	94.9%	104.6%	88.1%	88.3%	94.3%	84.9%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(2)建設技術職の雇用動向

◆建設技術者数は38万人(同100%)と前年並みとなった。

<建設技術者数の推移>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
建設技術者数(万人)	38	34	33	34	33	36	31	36	38	35	42	41	38
前年同月比	126.7%	100.0%	100.0%	89.5%	86.8%	109.1%	103.3%	109.1%	108.6%	94.6%	123.5%	110.8%	100.0%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者(常用・除くパート)の有効求人倍率は3カ月連続で前年同月を下回り、前年同月よりも0.42ポイント低い5.49倍となった。

◆有効求人数は前年同月比89.5%、新規求人数は同83.0%となり、ともに4カ月連続で前年を下回り、建設業各社の求人意欲は低下傾向が続く。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率も前年同月比0.65ポイント低下して5.45倍となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、有効求人倍率は低下傾向が続きそうである。

◆充足率は前年同月比で0.2ポイント低下して4.3%となり、ハローワークで建設技術者を採用することが困難な状況は続いている。

*充足率=(就職件数/新規求人数)×100(%)

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
新規求人数(人)	20,135	19,124	20,600	20,772	18,980	19,807	21,633	18,984	19,685	17,758	17,719	18,204	16,703
有効求人数(人)	58,062	57,626	58,810	59,958	58,863	58,695	59,809	59,981	58,834	55,627	54,561	53,080	51,942
新規求職者数(人)	3,303	2,290	2,004	2,254	1,923	1,934	2,175	1,821	1,686	2,261	1,946	2,298	3,063
有効求職者数(人)	9,821	9,732	9,285	8,878	8,643	8,520	8,513	8,177	7,841	8,111	8,199	8,691	9,453
新規求人倍率	6.10	8.35	10.28	9.22	9.87	10.24	9.95	10.43	11.68	7.85	9.11	7.92	5.45
有効求人倍率	5.91	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49
就職件数	899	895	854	798	741	774	802	742	662	549	638	851	720
充足率	4.5%	4.7%	4.1%	3.8%	3.9%	3.9%	3.7%	3.9%	3.4%	3.1%	3.6%	4.7%	4.3%

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の対前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
新規求人数	104.7%	100.8%	101.7%	107.7%	100.6%	102.6%	102.5%	96.8%	108.7%	90.2%	89.6%	95.7%	83.0%
有効求人数	102.1%	101.4%	101.9%	103.7%	101.9%	103.3%	101.9%	101.2%	101.4%	98.2%	95.2%	91.6%	89.5%
新規求職者数	91.8%	85.1%	86.8%	101.7%	91.4%	99.5%	93.7%	89.1%	100.7%	98.1%	88.0%	98.7%	92.7%
有効求職者数	94.4%	91.7%	90.2%	93.0%	94.7%	96.0%	94.4%	93.6%	95.3%	97.6%	97.0%	97.6%	96.3%
新規求人倍率	0.76	1.30	1.51	0.52	0.91	0.31	0.86	0.83	0.87	-0.69	0.17	-0.25	-0.65
有効求人倍率	0.44	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42
就職件数	94.2%	89.5%	87.6%	91.4%	95.9%	95.7%	88.1%	91.7%	95.4%	81.2%	84.6%	90.8%	80.1%
充足率	-0.5%	-0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.2%	-0.3%	-0.6%	-0.2%	-0.5%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.2%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3)建設技能工の雇用動向

◆ハローワークにおける建設・採掘の職業(常用・除くパート)の有効求人倍率は、前年同月比0.09ポイント低下して5.12倍となり、2カ月連続で前年同月を下回った。

◆有効求人数は前年同月比90.9%、新規求人数は同88.9%となりともに4カ月連続で前年同月を下回り、建設業各社の求人意欲は低下傾向が続く。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は前年同月比0.29ポイント低下して5.74倍となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、有効求人倍率は低下傾向が続きそうである。

◆充足率は前年同月比0.4ポイント低下して7.2%となり、ハローワークで建設技能工を採用することが困難な状況は続いている。

* 充足率=(就職件数/新規求人数)×100 (%)

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
新規求人数(人)	39022	35856	38176	39,508	34,132	37,952	39,971	34,622	34,487	33,611	33,768	35,927	34,694
有効求人数(人)	113085	110537	111213	111,911	109,854	110,223	110,815	110,955	107,479	101,723	100,759	101,986	102,809
新規求職者数(人)	6475	5362	4939	5,074	4,443	4,666	4,723	4,222	4,029	5,401	4,595	5,382	6,047
有効求職者数(人)	21695	21198	20472	19,997	19,166	18,957	18,714	17,981	17,410	18,261	18,442	19,522	20,086
新規求人倍率	6.03	6.69	7.73	7.79	7.68	8.13	8.46	8.20	8.56	6.22	7.35	6.68	5.74
有効求人倍率	5.21	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12
就職件数	2949	2881	2694	2,874	2,311	2,579	2,591	2,373	2,197	1,932	2,112	2,596	2,482
充足率	7.6%	8.0%	7.1%	7.3%	6.8%	6.8%	6.5%	6.9%	6.4%	5.7%	6.3%	7.2%	7.2%

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
新規求人数	104.7%	96.8%	100.5%	107.6%	96.0%	101.3%	102.6%	96.3%	105.0%	87.2%	88.7%	95.8%	88.9%
有効求人数	103.9%	100.6%	101.0%	102.1%	101.5%	102.1%	100.4%	100.4%	101.5%	96.1%	92.9%	90.6%	90.9%
新規求職者数	89.5%	84.8%	88.8%	96.9%	81.2%	98.1%	88.0%	90.7%	97.2%	91.6%	87.5%	93.0%	93.4%
有効求職者数	91.4%	89.4%	90.2%	92.9%	91.0%	93.0%	91.0%	92.5%	94.7%	94.8%	92.9%	93.2%	92.6%
新規求人倍率	0.88	0.83	0.91	0.78	1.19	0.30	1.21	0.48	0.64	-0.32	0.10	0.20	-0.29
有効求人倍率	0.63	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09
就職件数	93.7%	89.1%	87.2%	98.3%	87.8%	100.0%	87.6%	86.9%	98.5%	90.6%	88.3%	91.3%	84.2%
充足率	-0.9%	-0.7%	-1.1%	-0.7%	-0.6%	-0.1%	-1.1%	-0.7%	-0.4%	0.2%	0.0%	-0.4%	-0.4%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

3 2020年4月の雇用関連データのまとめ(2020年5月29日公表)

(1) 主要な雇用環境指標の推移

◆就業者数、雇用者数ともに7年4カ月ぶりに前年同月割れとなる

就業者数は6,628万人(前年同月比80万人減)、雇用者数は5,923万人(同36万人減)となり、ともに7年4カ月ぶりに前年同月を下回った。就業率は前年同月比▲0.7ポイント低下して59.8%となり前年同月を下回った。

◆完全失業率は前月より0.1ポイント悪化して2.6%

完全失業率(季節調整値)は前月より0.1ポイント悪化して2.6%となった。完全失業者数は3カ月連続で増加して、前年同月比13万人増の189万人となった。

【主要雇用環境指標の推移】

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
15歳以上人口(万人)	11,089	11,093	11,093	11,096	11,091	11,092	11,097	11,097	11,085	11,086	11,083	11,084	11,080
対前年同月増減(万人)	-9	-10	-17	-6	-7	-10	-7	-6	-8	-11	-5	-6	-9
労働力人口	6,884	6,896	6,909	6,888	6,908	6,936	6,951	6,913	6,883	6,846	6,850	6,876	6,817
対前年同月増減(万人)	33	42	54	56	56	59	63	36	68	53	38	15	-67
就業者数(万人)	6,708	6,732	6,747	6,731	6,751	6,768	6,787	6,762	6,737	6,687	6,691	6,700	6,628
対前年同月増減(万人)	37	34	60	71	69	53	62	53	81	59	35	13	-80
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	60.5%	60.7%	60.8%	60.7%	60.9%	61.0%	61.2%	60.9%	60.8%	60.3%	60.4%	60.4%	59.8%
対前年同月増減	0.4%	0.4%	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%	-0.7%
雇用者数(万人)	5,959	5,993	6,023	6,034	6,025	6,017	6,046	6,046	6,043	6,017	6,026	6,009	5,923
対前年同月増減(万人)	43	62	83	81	72	51	50	63	80	64	64	61	-36
完全失業者数(万人)	176	165	162	156	157	168	164	151	145	159	159	176	189
対前年同月増減(万人)	-4	7	-6	-16	-13	6	1	-17	-14	-7	3	2	13
完全失業率	2.4%	2.4%	2.3%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆最も就業者数が減少したのは宿泊業・飲食サービス業で46万人減、次いで卸売業・小売業が33万人減

産業別に就業者数を見ると、就業者数が最も減少しているのは宿泊業・飲食サービス業であり、前年同月比46万人減の373万人となった。次いで、卸売業・小売業が同33万人減の1,048万人となった。一方、最も大幅な増加となったのは情報通信業であり、同20万人増加して242万人となった。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	211	491	1,040	242	351	1,048	163
	対前年同月増減数	1	-12	-17	20	15	-33	-2
	対前年同月増減率	0.5%	-2.4%	-1.6%	9.0%	4.5%	-3.1%	-1.2%
雇用者	実数(万人)	62	401	993	230	340	980	162
	対前年同月増減数	5	-16	-11	18	16	-26	-1
	対前年同月増減率	8.8%	-3.8%	-1.1%	8.5%	4.9%	-2.6%	-0.6%

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類さ れない)
就業者	実数(万人)	139	248	373	225	319	855	449
	対前年同月増減数	15	9	-46	-11	-7	15	-8
	対前年同月増減率	12.1%	3.8%	-11.0%	-4.7%	-2.1%	1.8%	-1.8%
雇用者	実数(万人)	120	192	321	178	294	827	400
	対前年同月増減数	14	7	-36	-8	-5	18	-4
	対前年同月増減率	13.2%	3.8%	-10.1%	-4.3%	-1.7%	2.2%	-1.0%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆非正規の職員・従業員数が前年同月より97万人減少

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は3,563万人(前年同月比63万人増)と7カ月連続で増加した。一方、非正規の職員・従業員数は前年同月比97万人減の2,019万人となり、2カ月連続で大幅な減少となった。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
役員を除く雇用者数(万人)	5,616	5,641	5,679	5,699	5,688	5,683	5,721	5,712	5,698	5,665	5,688	5,656	5,582
正規の職員・従業員(万人)	3,500	3,535	3,531	3,526	3,497	3,481	3,526	3,526	3,518	3,516	3,530	3,506	3,563
構成比	62.3%	62.7%	62.2%	61.9%	61.5%	61.3%	61.6%	61.7%	61.7%	62.1%	62.1%	62.0%	63.8%
対前年同月増減(万人)	33	24	30	4	-18	-9	4	7	40	42	44	67	63
非正規の職員・従業員(万人)	2,116	2,106	2,148	2,174	2,190	2,202	2,196	2,186	2,179	2,149	2,159	2,150	2,019
構成比	37.7%	37.3%	37.8%	38.1%	38.5%	38.7%	38.4%	38.3%	38.2%	37.9%	38.0%	38.0%	36.2%
対前年同月増減(万人)	12	27	46	71	82	59	40	44	23	-5	2	-26	-97

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業率が最も上昇したのは15歳～24歳の男性

年齢階級別・男女別に完全失業者数及び完全失業率を見ると、完全失業率が最も上昇したのは15歳～24歳の男性であり、前月比で1.9ポイント上昇して4.9%となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	189	13	2.6%	0.1%
(男)	114	15	2.9%	0.2%
(女)	75	-2	2.3%	0.1%
15歳～24歳	33	7	4.9%	1.1%
(男)	18	6	5.7%	1.9%
(女)	14	2	3.9%	0.3%
25歳～34歳	44	5	3.7%	0.2%
(男)	26	6	4.3%	0.4%
(女)	18	-1	3.1%	0.2%
35歳～44歳	32	-1	2.2%	-0.1%
(男)	20	1	2.5%	0.2%
(女)	13	-1	2.1%	-0.1%
45歳～54歳	35	0	2.1%	-0.1%
(男)	19	0	2.1%	-0.1%
(女)	16	0	2.1%	-0.2%
55歳～64歳	28	0	2.2%	0.0%
(男)	17	0	2.5%	-0.2%
(女)	11	0	1.9%	0.4%
65歳以上	18	3	1.9%	0.2%
(男)	14	3	-	-
(女)	4	0	-	-

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆新たに求職、勤め先や事業の都合による離職が大幅に増加

完全失業者数を求職理由別に見ると、新たに求職が前年同月比13万人増、勤め先や事業の都合による離職が同9万人増と大幅に増加した。一方、自発的な離職は同4万人減と2カ月連続の減少となった。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	21	23	22	19	20	21	23	22	20	20	21	23	30
対前年同月増減(万人)	-4	1	-1	-6	-3	0	3	0	0	-2	1	4	9
定年または雇用契約終了による離職(万人)	20	16	15	18	17	17	13	15	14	16	15	17	18
対前年同月増減(万人)	-2	-3	-5	0	-4	-3	-4	-2	-3	-1	1	1	-2
自発的な離職(自己都合)(万人)	75	68	66	70	73	73	73	63	62	69	69	71	71
対前年同月増減(万人)	2	4	-3	-2	0	-2	2	-12	-11	-3	3	-8	-4
新たに求職	39	40	43	35	32	40	40	35	37	37	39	46	52
対前年同月増減(万人)	-4	3	4	-5	-6	5	1	-2	1	-3	1	6	13

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

(2) 全体の有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は4カ月連続で低下して1.32倍となる

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.07ポイント低下して1.32倍となった。4カ月連続の悪化であり、雇用環境は悪化傾向が続いている。また、正社員の有効求人倍率も前月より0.05ポイント低下して0.98倍となり3年4カ月ぶりに1.0倍を割り込んだ。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
有効求人倍率(倍)	1.63	1.62	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32
新規求人倍率(倍)	2.48	2.43	2.36	2.34	2.45	2.28	2.44	2.32	2.43	2.04	2.22	2.26	1.85
正社員有効求人倍率(倍)	1.16	1.15	1.15	1.14	1.14	1.13	1.13	1.13	1.13	1.07	1.05	1.03	0.98

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月より0.21ポイント低下して1.83倍となった。9カ月連続の低下であり、すべての専門的・技術的職種で前年同月割れとなった。

◆低下率が最も高かったのは医師・歯科医師・獣医師・薬剤師であり前年同月比1.05ポイント低下して3.81倍となった。次いで情報処理技術者が同0.53ポイント低下して1.87倍、輸送機械運転の職業が同0.47ポイント低下して2.10倍であった。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
職業計	1.35	1.33	1.37	1.40	1.41	1.42	1.43	1.46	1.51	1.40	1.34	1.25	1.12
専門的・技術的職業の有効求人倍率	2.04	2.01	2.11	2.18	2.21	2.23	2.25	2.33	2.45	2.32	2.21	2.06	1.83
開発技術者	2.34	2.28	2.40	2.36	2.40	2.41	2.27	2.36	2.40	2.29	2.23	2.13	1.98
建築・土木・測量技術者	5.91	5.92	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49
情報処理技術者	2.40	2.36	2.43	2.44	2.45	2.46	2.41	2.42	2.47	2.30	2.17	2.08	1.87
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	4.86	4.90	4.51	4.47	4.43	4.45	4.46	4.66	4.90	4.76	4.51	4.40	3.81
保健師、助産師、看護師	2.24	2.21	2.31	2.32	2.35	2.36	2.47	2.63	2.85	2.69	2.60	2.45	2.18
医療技術者	2.82	2.73	2.94	3.05	3.18	3.12	3.17	3.27	3.42	3.20	3.10	2.91	2.53
その他の保健医療の職業	1.99	1.97	2.10	2.18	2.21	2.25	2.28	2.32	2.40	2.32	2.29	2.14	1.91
社会福祉専門の職業	2.76	2.77	3.01	3.22	3.32	3.42	3.43	3.58	3.92	3.73	3.36	3.08	2.73
美術家、デザイナー、写真家	0.40	0.37	0.39	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	0.37	0.36	0.32	0.26
事務的職業	0.44	0.43	0.43	0.45	0.45	0.46	0.47	0.47	0.48	0.47	0.46	0.43	0.36
販売の職業	1.96	1.94	1.99	2.00	2.01	2.02	2.02	2.08	2.15	2.06	2.11	2.03	1.79
サービスの職業	2.83	2.88	2.99	3.06	3.11	3.10	3.13	3.18	3.33	3.11	3.02	2.81	2.45
生産工程の職業	1.73	1.69	1.71	1.68	1.68	1.68	1.66	1.67	1.68	1.56	1.54	1.47	1.36
輸送・機械運転の職業	2.57	2.52	2.61	2.61	2.63	2.65	2.69	2.81	2.88	2.68	2.58	2.38	2.10
建設・採掘の職業	5.21	5.21	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12

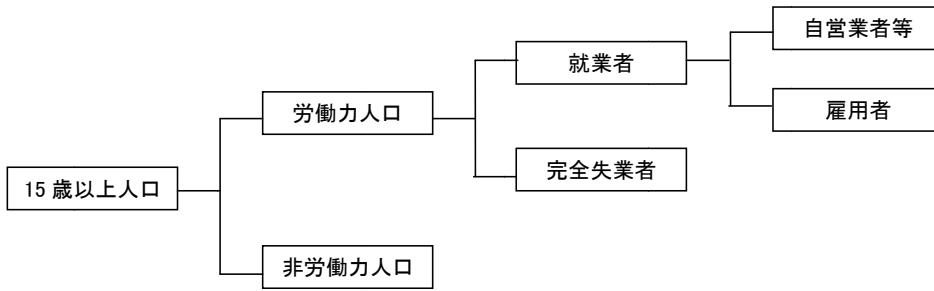
出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の前年同月比】

	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月
職業計	0.05	0.03	0.01	0.00	-0.01	-0.02	-0.02	-0.03	-0.03	-0.11	-0.15	-0.18	-0.23
専門的・技術的職業	0.08	0.05	0.02	0.00	-0.01	-0.02	-0.04	-0.05	-0.05	-0.11	-0.14	-0.18	-0.21
開発技術者	-0.10	-0.07	-0.06	-0.22	-0.18	-0.14	-0.37	-0.40	-0.44	-0.39	-0.43	-0.41	-0.36
建築・土木・測量技術者	0.44	0.57	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42
情報処理技術者	-0.07	-0.08	-0.12	-0.13	-0.17	-0.13	-0.21	-0.22	-0.27	-0.35	-0.48	-0.49	-0.53
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-0.88	-0.50	-1.24	-1.34	-1.26	-1.09	-1.01	-0.88	-0.94	-1.20	-1.53	-1.54	-1.05
保健師、助産師、看護師	0.00	-0.01	-0.05	-0.09	-0.08	-0.10	-0.03	0.02	0.02	-0.07	-0.05	-0.08	-0.06
医療技術者	0.15	0.16	0.11	0.08	0.09	-0.03	0.03	0.06	0.09	-0.06	-0.19	-0.24	-0.29
その他の保健医療の職業	0.22	0.20	0.21	0.21	0.19	0.12	0.14	0.13	0.15	0.13	0.12	0.01	-0.08
社会福祉専門の職業	0.25	0.18	0.19	0.17	0.20	0.21	0.14	0.16	0.30	0.22	0.06	0.00	-0.03
美術家、デザイナー、写真家	-0.24	-0.28	-0.07	-0.07	-0.08	-0.08	-0.07	-0.07	-0.08	-0.09	-0.10	-0.11	-0.14
事務的職業	0.03	0.02	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	-0.02	-0.05	-0.05	-0.08
販売の職業	0.10	0.07	0.03	0.01	-0.03	-0.03	-0.03	-0.02	-0.02	-0.10	-0.02	-0.04	-0.17
サービスの職業	0.14	0.13	0.12	0.12	0.15	0.07	0.13	0.12	0.13	0.01	-0.01	-0.10	-0.38
生産工程の職業	0.04	0.01	-0.02	-0.09	-0.12	-0.15	-0.20	-0.23	-0.27	-0.34	-0.34	-0.32	-0.37
輸送・機械運転の職業	0.16	0.13	0.14	0.11	0.09	0.06	0.11	0.13	0.11	-0.06	-0.15	-0.28	-0.47
建設・採掘の職業	0.63	0.58	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)